

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

科目名		ナンバリング		区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年看護援助論		NSP22_006		必修	1	2	前期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
山崎 さやか 他		411		s.yamazaki		木曜日 14:40～16:10	
授業の目的・概要	老年期にある人の心身の特徴と生活過程の特徴を理解した上で、老年期における健康のあり方・健康課題の特徴を理解する。これら老年期の特徴を踏まえて、老年期にある人を全人的に捉え、well-beingを促進する援助方法および健康課題・老化に伴う機能障害に対する援助方法を理解する。人生の最終段階にある人が、その人らしく生を全うできるよう支援をするための臨床判断、倫理的判断に基づいた適切なケア方法およびアドバンス・ケア・プランニングの概念を学修する。						
授業形式・方法	☒対面授業 ☐遠隔授業 (双方向型) ☐遠隔授業 (自主学習) ☒講義 ☐実習 ☒演習 ☐実技 ☒PBL ☒グループワーク ☐その他 () ☐反転授業 ☒ブレインセッション ☐ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク						
学習上の助言	老年看護学概論と連動した講義であるため老年看護学概論の復習をしてから受講すること。						
教科書	・ナシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害(第7版) /編:堀内ふき 他 /メディカ出版 /2023 (1年次に購入した教科書) ・ナシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践(第7版) /編:堀内ふき 他 /メディカ出版 /2025 [2冊指定]						
参考書	特になし						
外部教材	特になし						
学生が達成すべき行動目標						関連卒業認定・学位授与方針	
①	高齢者の特徴をふまえたフィジカルアセスメントができる。						NS(1)(3)
②	高齢者に特有な健康障害や疾患とその看護について理解できる。						NS(1)(3)
③	人生の最終段階にある高齢者への看護について考えることができる。						HSU(1)(3), NS(1)(3)
④	高齢者ケアの場で派生している倫理的課題の実際を理解し、看護職に必要とされる役割について考えることができる。						HSU(1)(3), NS(1)(3)
授 業 計 画							
回	学習内容等			授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	高齢者の特徴と生活を支える看護 (食生活)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
2	高齢者の特徴と生活を支える看護 (排泄)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
3	高齢者の特徴と生活を支える看護 (清潔・衣生活)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
4	高齢者の特徴と生活を支える看護 (活動と休息)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
5	高齢者の特徴と生活を支える看護 (歩行・移動)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
6	高齢者の特徴と生活を支える看護 (呼吸・循環機能障害)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
7	高齢者の特徴と生活を支える看護 (その他高齢者に特徴的な疾患・症状)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
8	高齢者の特徴と生活を支える看護 (高齢者のフィジカルアセスメント)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
9	高齢者の特徴と生活を支える看護 (高齢者のフィジカルアセスメント)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
10	高齢者の特徴と生活を支える看護 (高齢者のフィジカルアセスメント)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
11	高齢者の特徴と生活を支える看護 (高齢者の死と医療・ケア)			講義・演習	講義・演習で学んだ事項をノートにまとめる。	1	
12	認知症高齢者の看護 (1) 認知症の病態と症状			講義・演習	認知症の病態と症状について該当箇所を読んでおく。	1	
13	認知症高齢者の看護 (2) 認知症ケアの原則			講義	バーン・センター・けななどに基づいた認知症ケアについて考える。	1	
14	認知症高齢者の看護 (3) 認知症ケアの原則			講義・演習	認知症高齢者の家族支援について考える。	1	
15	高齢者施設における看護			講義・演習	高齢者のアセスメントと看護計画を作成する。	1	
試	定期試験						

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/老年看護学】

総合評価割合 (%)		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	80	10	0	10	0	100
	思考・推論・創造する力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	5	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	0	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	0	10
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義の中、講義に関連した小テストを実施する。定期試験の範囲は講義全体を対象として出題する。小テストと定期試験の合計で 80 点満点とする。				小テスト、筆記試験の要点を解説する。
	②	✓					
	③						
	④						
レポート	①	✓	認知症高齢者の看護についてレポートを課す。				レポートに対するコメントを返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①		講義中に作成したノート进行评估する。				ノートに対するコメントを返す。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他 担 当 教 員		佐野 宏一郎、馬淵 路子（認知症看護認定看護師）					
教 員 の 実 務 経 験		科目責任者は、病院、有料老人ホーム、へき地巡回診療における看護師としての臨床経験を持ち、他の教員も看護師として豊富な臨床経験を有する。					
実 践 的 授 業 の 内 容		高齢者看護の経験を有する教員が、学生が主体的に考えることができる講義・演習を用いて、知識と技術の修得を目指す。					
そ の 他		特になし					